

新たな備えサポート隊 in 松山

2024 年度活動報告書

2024 年 12 月

「新たな備えサポート隊 in 松山」実行委員会事務局

目次

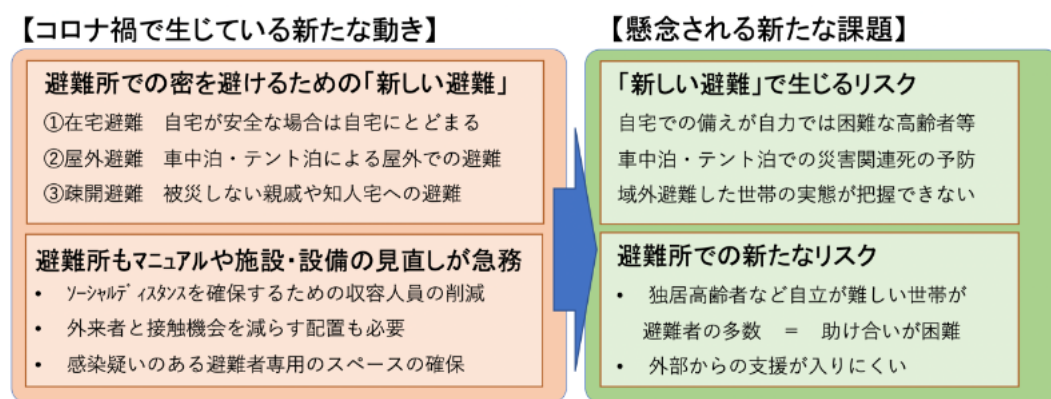
1.	活動の経過	2
1-1	新たな備えサポート隊	2
1-2	新たな備えサポート隊 in 松山	3
2.	新たな備えサポーター養成研修	4
2-1	募集要項	4
2-2	サポーター養成の流れ	5
2-3	動画視聴研修	6
2-4	実技講習会	7
3.	新たな備えサポーターの派遣	8
3-1	サポーター派遣の経緯	8
3-2	サポーター派遣の流れ	8
3-3	サポーター派遣実績	10
4.	防災アセスメント	11
5.	活動の感想・評価	14
5-1	活動の感想（支援世帯）	14
5-2	活動の感想（サポーター）	15
5-3	活動の評価	17
6.	参考資料①（募集チラシ）	18
7.	参考資料②（災害への備えを考えるワークショップ）	20

1. 活動の経過

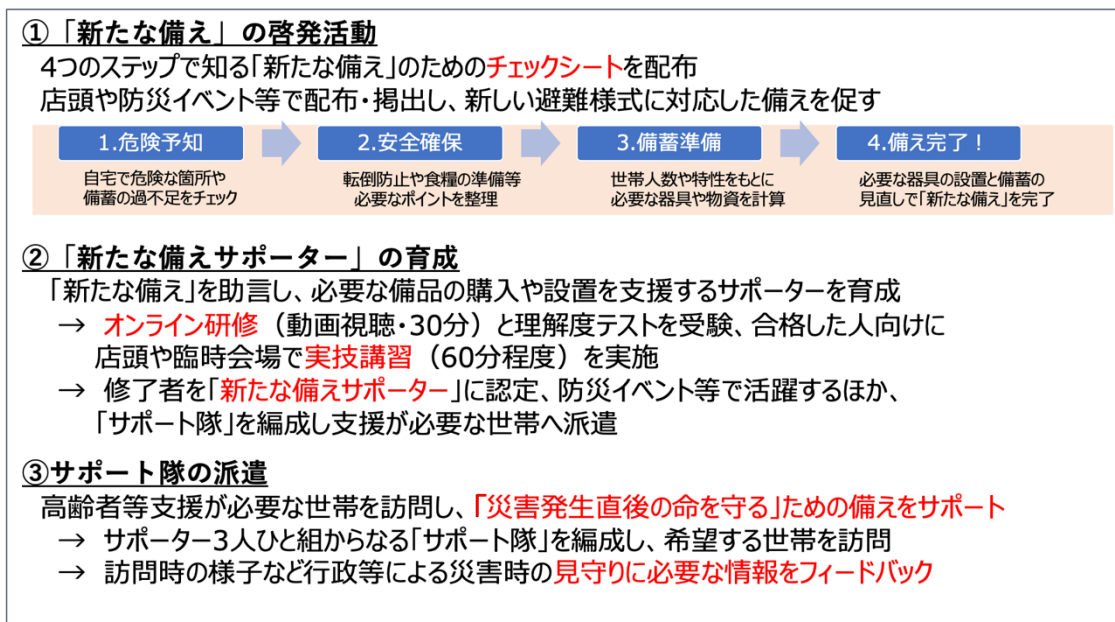
1-1 新たな備えサポート隊

コロナ禍を経て、避難所での受入や運営ルールが大きく変化し、避難所が中心だったこれまでの支援から、自宅で安心して過ごすための取り組みへ防災の軸を変える必要が生じている。

新たな事態に対応するため、自宅を訪問して「在宅避難」に向けた家具転倒防止や備蓄支援、「屋外避難」や「疎開避難」のための備えの提案を行う「新たな備えサポート隊」を編成し、自力で「新しい避難」ができない高齢世帯等での備えを強化することで、誰もが「新しい備え」への対応が可能になる取り組みを構想した。



新たな災害対応と課題



新たな備えサポート隊の活動内容

1-2 新たな備えサポート隊 in 松山

社会の要請に則した新たな備えの啓発を行い、同時に対象世帯をサポートしていくためのより確実性の高い“ネットワークの構築”と“支援策”を適えるための産官学民の地域全体での取り組みを2022年より愛媛県松山市で実施している。その経過を以下に述べる。

2022年、DCM株式会社が発起人となって、愛媛県松山市で地元企業等を中心とした実行委員会が同年6月27日に発足し、一般財団法人ダイバーシティ研究所が事務局を担当した。7月25日には、愛媛県松山市、愛媛大学防災情報研究センターと事業協定を締結¹し、産官学民協働による事業として取り組み、松山市内の56世帯に対して防災用品の提供等を実施した（2022年度報告書 <https://sonaetai.net/img/SonaeSupport2022report.pdf>）。



事業協定調印式（2022年7月25日）¹
左より愛媛大学防災情報研究センター（バンダリ・ネトラ・プラカシュセンター長）、愛媛県松山市（野志克仁松山市長）、実行委員会（発起人：DCM株式会社 中川真行取締役）

2023年も前年と同様の体制のもと、諸改善を行った上で、100世帯への防災用品等提供の活動ができた（2023年度報告書 <https://sonaetai.net/img/SonaeSupport2023report.pdf>）。

2024年度においても同様の体制で実施し、より多くの世帯への支援ができるよう取り組んだ。活動概要を以下に述べる。

名称	新たな備えサポート隊 in 松山
目的	① 災害の多発化やコロナ禍で求められる「新たな備え」の必要性を広める ② 「新たな備え」について知識と技術を持った人材「新たな備えサポート隊」を育成する ③ 高齢者など自力で「新たな備え」が難しい世帯へサポート隊を派遣し、自宅での備えを支援する
日時	2024年5月～10月（うち、サポート隊の派遣は10月）
内容	<ul style="list-style-type: none">「新たな備え」の考え方や支援が必要な世帯についての基礎知識を学ぶ「オンライン研修プログラム」の提供（8月）高齢者等支援が必要な世帯を訪問し、支援計画の立案・支援の提供を行うための「実技講習プログラム」の提供（9月）松山市役所等を通して支援希望世帯を募り、申し込みのあった世帯から対象とする100世帯を訪問して支援計画を策定（8～9月）支援計画に沿った支援を提供（10月）支援の提供や訪問時に行ったヒアリング等から、「新たな備え」に向けた課題や今後の取り組みについて提言を発表（12月）
主催	新たな備えサポート隊 in 松山実行委員会
<構成団体>	(株) あいテレビ、(株) 伊予銀行、NTT西日本(株)、愛媛県中予地区郵便局長会、(株) 愛媛CATV、(株) 愛媛新聞社、愛媛トヨペット(株)、(株) 門屋組、(株) 輝城、久保豊(株)、コカ・コーラボトラーズジャパン(株) 愛媛支店、ソフトバンク(株)、(株) ダイキアクシス、(一財)ダイバーシティ研究所、(株) 寺小屋グループ、DCM(株)、東京海上日動火災保険(株) 愛媛支店、(株) トヨタレンタリース西四国、南海放送(株)、(株) フジクウ、(特非)松山さかのうえ日本語学校、三井住友信託銀行(株) 松山支店（2024年度構成団体・50音順）

新たな備えサポート隊 in 松山 2024年度実施計画・体制

¹ https://www.dcm-hldgs.co.jp/grp/pdf/grp/csr/csr_sonaesupport.pdf

2. 新たな備えサポーター養成研修

2-1 募集要項

「新しい避難」が難しい高齢者等の世帯に対し「在宅避難」に向けた家具転倒防止や備蓄支援の提案を行う「新たな備えサポート隊」として、養成研修を受け「新たな備えサポーター」として認定された者を派遣した。原則として防災士、大学生等を募集対象とし、複数名で訪ねることで、より効果的な訪問となることを図った。

以下に該当する方を募集します。

1. 「新たな備え」に賛同し、活動に協力してくださる方
2. 以下の有資格者または所属の方（カッコ内は求められる役割）
 - 防災士（防災の知識を生かして訪問宅のリスクを評価、必要な備えを助言する）
 - 大学生（サポート隊での経験を生かして地域防災の担い手となる）
3. 2024年10月に愛媛県松山市において活動可能な方（原則として土、日曜が活動日）
4. 所定の研修プログラムを受講し、修了できる方

サポーターは以下の流れに沿って活動いただきます。

1. サポーターの申込み

- ① サポーターを希望される方は、QRコードを読み込み、空メール（件名、本文なしのメール）を送信してください。（または直接 matsuyama@sonaetai.net へ空メールを送信）
- ② 登録用WebフォームのURLを自動返信メールで通知します。必要事項（氏名、連絡先、実技研修の受講希望日、活動希望日など）を入力後、送信ボタンを押すとサポーターの申込みが完了します。

2. オンライン研修プログラムの受講

- ① サポーターの申込み後、研修動画視聴サイトのURLを自動返信メールで通知します。
- ② 研修動画視聴サイトより各自、動画（合計約30分）を視聴し、活動に関する基本的な事柄を学び、自己採点によるテストを受講します。
- ③ テストの自己採点後、研修完了ボタンを押すとオンライン研修が完了します。

3. 実技講習プログラムの受講

- ・ 対面式による実技講習（9月28日（土）、29日（日）、30日（月）の午前（28日は午前開催無し）または午後いずれか、2時間程度（松山市美沢1-9-1））を受講します。

4. 支援世帯訪問

- ① 事務局で支援世帯とサポーターとの訪問希望日のマッチングを行い、訪問日を依頼します。
- ② 訪問日は原則として10月の土曜・日曜となり、サポーター3名一組で数件の支援世帯を訪問します。
- ③ 当日、会場（松山市美沢1-9-1）へ集合し、事前説明を受けた後、事務局が用意した自動車へ備品を積み込み、支援世帯宅へ移動します。（サポーターは、認定証、ビブスを貸与します）

5. 支援内容

- ・ 家具転倒防止器具の取り付け、防災用品の提供、防災情報の提供、アセスメントなどの支援を行います。（チェックシートに従い、支援を行い、記録は貸与するタブレット（iPad）に残します）

新たな備えサポーター募集要項（詳細は <https://sonaetai.net/matsuyama2024.html> 参照）

2-2 サポーター養成の流れ

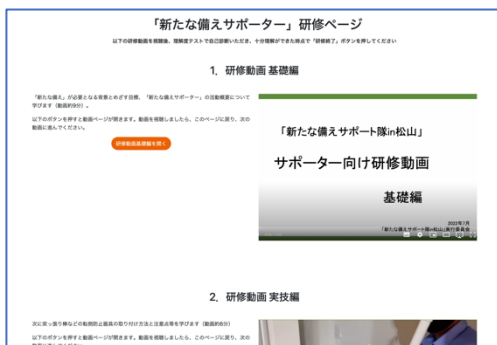
サポーター養成は以下の手順で行われる。

1. サポーター登録希望者はQRコードまたは直接、matsuyama@sonaetai.net へ空メール（件名、本文なしメール）を送る
2. サポーター登録希望者へ自動返信メールでサポーター登録フォームのURLを通知
3. サポーター登録希望者はサポーター登録フォームに入力、kintone（クラウドデータベース）の「サポーターDB」に自動登録される
4. 登録後、自動返信メールで動画研修ページが届き、動画による研修を各自行う



登録用 QR コード

サポーター登録フォーム



動画視聴研修ページ

5. 事務局で実技講習会参加日程を調整後、登録者に通知
6. 実技講習会に参加後、「新たな備えサポート隊」サポーターとして認定



実技講習会：訪問時対応の講習



実技講習会：転倒防止器具取り付け講習

2-3 動画視聴研修

サポーター登録希望者は最初に動画視聴研修を受ける。研修 Web ページ掲載の研修動画（4本）視聴と自己採点による理解度テストを終了後、同ページにある研修終了のボタンを押すことで「サポーターDB」に動画視聴研修完了が記録される。

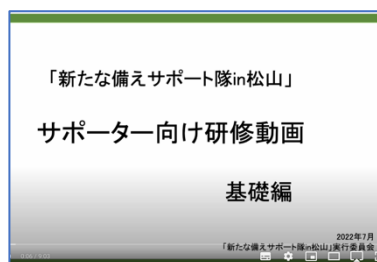
「新たな備えサポーター」研修ページ

<https://sonaetai.net/matsuyama/tr98304c1.html>

視聴する動画は以下の3本で当活動に必要な知識・スキルを習得する内容となっている。

1. 研修動画 基礎編

「新たな備え」が必要となる背景とめざす目標、「新たな備えサポーター」の活動概要について学ぶ（約9分）。



2. 研修動画 実技編

突っ張り棒などの転倒防止器具の取り付け方法与注意点を学ぶ（約6分）。

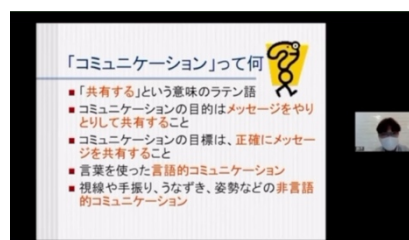


株式会社輝城

栗田雅則代表取締役 監修・出演

3. 研修動画 コミュニケーション編

訪問先の方と円滑なコミュニケーションをとるための技法と注意点を学ぶ（約14分）。



一般社団法人愛媛県社会福祉会

鈴木正幸事務局長 監修・出演

動画視聴後、動画内容の理解度テストとして動画の内容に関連する8問の選択式テストを受ける。自己採点で十分理解ができたと各自が判断後、研修ページの「研修終了」ボタンを押して動画視聴完了を登録する。



理解度テスト画面

2-4 実技講習会

実技講習会は約2時間実施し、事業の概要説明、突っ張り棒等の取り付け講習、アセスメント（生活状況確認）、訪問時の対応ロールプレイを行い、実際の訪問で求められる知識・スキルを実践的に学んだ。

所用時間	項目	内容	講師	備考
00:10	活動説明	背景と経緯説明 訪問時の流れ	山瀬 (松山さかのうえ日本語学校)	PPT使用 訪問マニュアル使用
00:30	訪問時の留意点 アセスメント講習(福祉)	フロー提示 アセスメント項目説明	社会福祉士	PPT使用 アセスメントマニュアル 使用
00:15	アセスメント講習(防災)	アセスメント項目説明 その他事項	松山市防災・危機管理課	PPT使用 アセスメントマニュアル 使用
00:10	休憩/移動	—	—	—
00:30	実技講習	家具転倒防止器具取付説明	中村 (DCM)	取り付け実技マニュアル 使用
00:15	訪問ロールプレイング	小グループ(3名)にて実施	全員	—
00:10	今後の流れ 質疑応答	予定、連絡方法等	山瀬 (松山さかのうえ日本語学校)	訪問マニュアル使用

開催プログラム

会場は「DCM株式会社 ゆめ・みらい 住まいの創造かん」（松山市美沢1-9-1）で行い、設置の取り付け実技デモンストラーション家具等を用いて効果的な講習ができた。9月28日（土）～30日（月）の3日間で合計5回サポーター研修を実施し、右図の参加が得られた。前年度に研修を受けたサポーターを含めて118名を認定した。

研修日程	参加者数
9月28日（土）PM	33
9月29日（日）AM	24
9月29日（日）PM	12
9月30日（月）AM	9
9月30日（月）PM	24
合計	102

松山市役所職員や社会福祉士等の協力を得て、サポーターに求められる知識、心構え、スキルを学ぶ機会を提供することができた。以下は講習会の様子を示す。



事務局から活動説明・本日の研修について



社会福祉士から訪問時の留意点等説明



市役所職員の防災アセスメント講習



転倒防止器具取付の実技講習



訪問ロールプレイング

3. 新たな備えサポーターの派遣

3-1 サポーター派遣の経緯

今年度は合計 100 世帯への支援実施を目標とし、松山市市民防災安全課の協力により、松山市内の桑原、素鷲、雄郡、新玉、清水、味酒、宮前、三津浜、和気、堀江の計 10 地区を今年度の対象地区に選定し、各地区の自主防災組織、民生委員、防災士等を通じて支援の募集を募った。支援申込み用紙を市民防災安全課で取りまとめ、当事務局で支援先情報のデータベース入力や訪問日程の調整を行った。

3-2 サポーター派遣の流れ

サポーターの派遣を 10 月中の土・日・祝日で計 7 日間行った。派遣本部である「DCM 株式会社 ゆめ・みらい 住まいの創造かん」へ集合し説明を受けた後、防災用品取り付けに必要な機材等を事務局で用意したレンタカーに積み込んで指定された地域へ向かった。

地域の防災士、民生委員等コーディネーターと合流し、希望があった世帯を訪問して防災用品（主に家具転倒防止の突っ張り棒）取り付けを実施した。防災用品は合計 5,000 円までの範囲で無償提供し、ソフトバンク株式会社から無償貸与を受けた iPad を用いて、訪問世帯や提供した防災用品の情報をクラウドデータベースに記録した。以下にその様子を示す。

● 10月 2週目からの土・日・祝日 合計7日間でサポーターを支援世帯へ派遣



訪問前のミーティングを行ってから出発



家具転倒防止器具の取り付け



アセスメント調査



防災用品のお渡し

訪問した世帯には、以下に示す防災用品を提供した。

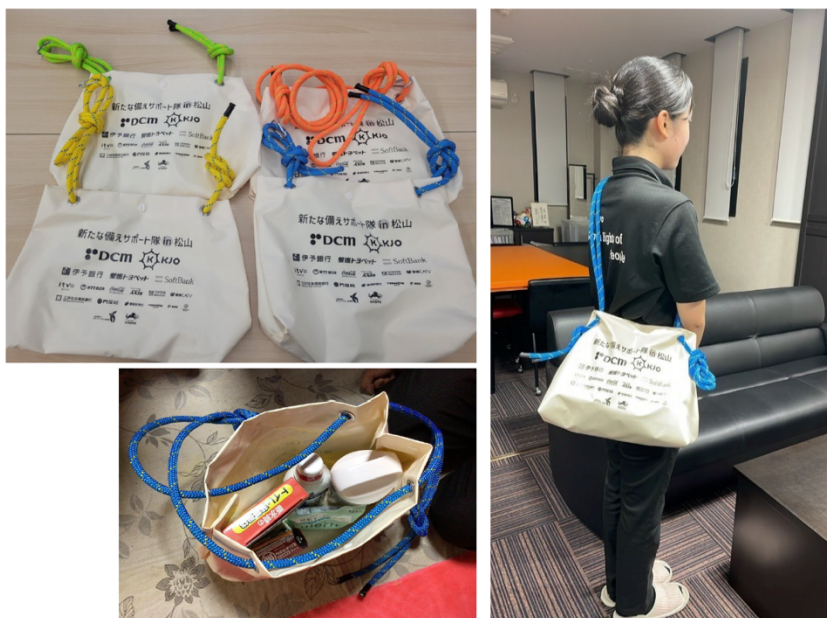
● 1世帯5,000円以内で防災用品を無償提供

画像	商品名	画像	商品名
	アイリス 家具転倒防止伸縮棒 KT-B-30/KT-B-40/KT-B-50		えいほうかん 300g ※賞味期限 製造日より5年
	トイレ非常用袋 R-40 10回分		DCM LED調色ランタン E-TL01 (W) ※単三電池×4本(別売)
	簡便トイレ袋 ペンリー袋R SRBI-40 5枚		携帯おにぎり 鮭・わかめ・五目 42g ※賞味期限 製造日より5年
	グリアグリーンデンタリンス 600ml		アイリス 転倒防止粘着マット ECT-5054ブルー
	三立 缶入カンパ 100g ※賞味期限 製造日より5年		MRデisposableトイレシート 12枚

転倒防止突張棒、非常用トイレ袋、非常食、ランタン、衛生用品などを準備して、この中から5,000円以内で防災用品を提供

また、協賛企業名が入った布バケツをプレゼントし、好評を得た。

● 協賛企業名が入った布バケツをプレゼント



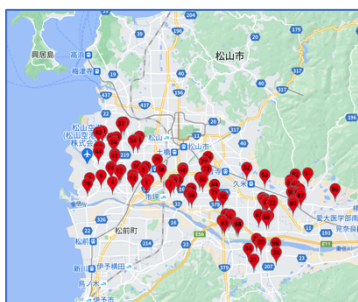
協賛企業の(株)輝城様からの提供で防災用布バケツを配布。 Tent生地できているので、非常時には水を入れることができます

3-3 サポーター派遣実績

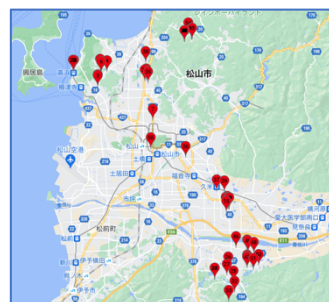
10月の7日間、のべ136名のサポーター派遣を行い、計102世帯に防災用品を取り付けた。下図の赤いピンは訪問世帯を示す。



2024年度訪問先一覧



(参考：2023年度実績)



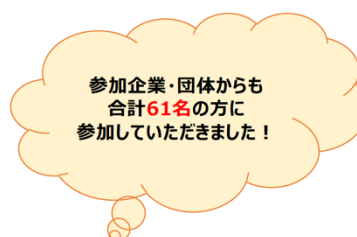
(参考：2022年度実績)

2022年度からの活動実績を以下に示す。

活動実績

	2022年実績	2023年実績	2024年実績
ボランティア認定者 (のべ参加者)	46 (76)	85 (109)	118 (136)
訪問支援 世帯数	56	100	102

企業・団体名	参加人数
愛媛県中予地区郵便局長会	36
DCM	13
愛媛トヨペット	7
愛媛CATV	3
伊予銀行	2
合計	61



4. 防災アセスメント

支援先世帯の防災に関する状況を可能な範囲で確認し記録する防災アセスメント調査を防災用品取り付けと同時に実施した。松山市民防衛安全課と協働し、アセスメント項目を以下に定めた。サポーターは訪問時にアセスメント項目について聞き取りを行い、iPadを用いてデータベースに記録した。

1. 健康

世帯状況

- 支援認定あり
- 介護認定あり
- 障害者・療育手帳あり
- 難病・傷病者
- 外国人
- アレルギー等

福祉・医療サービス

- 介護等の福祉サービスを受けている（自宅訪問）
- 介護等の福祉サービスを受けている（通所）
- 地域包括センターが近くにある
- 医療機関へ定期的に通院している
- 毎日、服薬している
- 医療機関・薬局へは支援者なしで通える
- 食事・食品の宅配サービスを利用している

在宅医療機器使用

- なし あり
- 在宅医療機器
- 人工呼吸器 在宅酸素 透析
- インシュリン注射 その他

2. つながりの有無（共助）

つながり

- 近所に家族・親戚がいる
- 近所づきあいがある
- 町内会に友人・知人がいる
- 老人会等の活動に参加している

3. 支援要請先の認知（公助）

支援要請先

- 自治体の相談機関を知っている
- 地域の包括支援センターを知っている
- 地域の民生委員を知っている
- 町内会の委員・役員を知っている

4. 自宅・周辺の安全状況

築年数

- 未回答 不明 10年以内 11～20年
- 21～40年 41年以上（昭和56年以前）

安全対応

- 居間、寝室等、長時間利用する部屋で転倒のおそれがある家具がある

- 地震で設置場所から飛び出すおそれのある大型家電製品等（例：テレビ）がある
- 災害時に転倒して戸・ドアをふさぐおそれのある家具がある
- 台所で火を使う調理器具近くの家具が転倒したり、ガラスが飛び散って、調理器に近づけなくなるおそれがある
- 玄関や廊下で避難時に障害となる家具等がある
- 家具等の転倒で避難経路がふさがれるおそれがある
- 手すり、滑り止めシートがない等、階段の昇降における課題がある（在宅避難時の安全）
- 雨どい、雨水マス、側溝の破損や詰まりが水害時に大きな被害をもたらすおそれがある
- ブロック塀等で災害時に転倒のおそれがある
- まつやま総合防災マップ等の防災資料がない
- 消火器の設置がない
- 持ち出し用の貴重品をまとめて袋等に収納していない

備蓄対応

- 非常食（3日間程度）
- 飲料水（3日間程度）
- 応急医薬品
- 懐中電灯
- 携帯トイレ
- モバイルバッテリー（携帯電話用）

5. 災害情報の入手

災害情報の入手先

- 行政のHPやメールサービス
- その他サイト（ニュース、SNS等）
- 回覧板
- テレビ
- ラジオ
- 新聞
- 行政の配布物
- 口コミ・知人から
- 地区役員等からの連絡
- 学校・幼稚園・保育園等からの連絡
- 介護・障害サービス事業者からの連絡
- その他

アセスメント備考
（自由記述欄）

活動を通じて97件の有効な調査結果が得られた。以下に各項目の集計を記載するが、アセスメントについてはあくまで可能な範囲で聞き取りを行った結果であり、実態を厳密に反映するものではなく、今後の活動についての参考資料という位置づけで掲載するものである。

1. 健康

世帯状況 (N=97、重複回答含む)

世帯状況	レコード数
支援認定あり	13
介護認定あり	10
障害者・療育手帳あり	5
難病・傷病者	1
外国人	1
アレルギー等	6

全体の約 4 分の 1 が支援または
介護認定有り

福祉・医療サービス (N=97、重複回答含む)

福祉・医療サービス	レコード数
介護等の福祉サービスを受けている (自宅訪問)	17
介護等の福祉サービスを受けている (通所)	16
地域包括センターが近くにある	23
医療機関へ定期的に通院している	42
毎日、服薬している	53
医療機関・薬局へは支援者なしで通える	32
食事・食品の宅配サービスを利用している	9

全体の半数以上が医療機関へ
の定期的通院、服薬している

在宅医療機器使用 (N=97)

あり : 1 (インシュリン注射)

2. つながりの有無 (共助) (N=97、重複回答含む)

つながり	レコード数
近所に家族・親戚がいる	40
近所づきあいがある	65
町内会に友人・知人がいる	59
老人会等の活動に参加している	18

全体の約 3 分の 2 が近所づき
あい有り

3. 支援要請先の認知 (公助) (N=97、重複回答含む)

支援要請先	レコード数
自治体の相談機関を知っている	22
地域の包括支援センターを知っている	44
地域の民生委員を知っている	79
町内会の委員・役員を知っている	44

全体の約 80%が近所の民生委
員と面識有り

4. 自宅・周辺の安全状況

築年数 (N=97)

築年数	レコード数
41年以上 (昭和56年以前)	51
21~40年	31
11~20年	5
10年以内	3
未回答・不明	29

全体の半数強が旧耐震基準の
家屋に居住

安全対応 (N=97、重複回答含む)

安全対応	レコード数
居間、寝室等、長時間利用する部屋で転倒のおそれがある家具がある	61
地震で設置場所から飛び出すおそれのある大型家電製品等(例：テレビ)がある	36
災害時に転倒して戸・ドアをふさぐおそれのある家具がある	28
台所で火を使う調理器具近くの家具が転倒したり、ガラスが飛び散って、調理器に近づけなくなるおそれがある	33
玄関や廊下で避難時に障害となる家具等がある	16
家具等の転倒で避難経路がふさがれるおそれがある	16
手すり、滑り止めシートがない等、階段の昇降における課題がある(在宅避難時の安全)	16
雨どい、雨水マス、側溝の破損や詰まりが水害時に大きな被害をもたらすおそれがある	9
ブロック塀等で災害時に転倒のおそれがある	16
まつやま総合防災マップ等の防災資料がない	24
消火器の設置がない	44
持ち出し用の貴重品をまとめて袋等に収納していない	29

備蓄対応 (N=97、重複回答含む)

備蓄対応	レコード数
非常食(3日間程度)	58
飲料水(3日間程度)	63
応急医薬品	54
懐中電灯	79
携帯トイレ	31
モバイルバッテリー(携帯電話用)	13

全体の 63%で転倒のおそれがある家具有り、半数弱の世帯で消火器の設置が無い

全体の 60%で非常食、65%で飲料水の備蓄有り(3日間程度)

災害情報の入手 (N=97、重複回答含む)

災害情報の入手先	レコード数
行政のHP やメールサービス	10
その他サイト(ニュース、SNS等)	16
回覧板	20
テレビ	68
ラジオ	33
新聞	20
行政の配布物	9
口コミ・知人から	7
地区役員等からの連絡	14
学校・幼稚園・保育園等からの連絡	1
介護・障害サービス事業者からの連絡	3
その他	3

災害情報の入手はテレビが最も多い

アセスメント備考(自由記述欄)の記述例

- ・ 防災グッズは、玄関に設置あるが5年経ったため入れ替え予定
- ・ 災害時無事を知らせるカードあり。災害時は無事なら玄関にカードを吊るす予定
- ・ 尿カテーテルあるため災害時トイレに不安
- ・ 5階であり、エレベーターが止まったら避難困難
- ・ 近所付き合いが多く、近所の方が様子を見に来てくれたり遊びに来てくれるので助け合いの面では安心できる
- ・ 避難先まで歩けるか実際に歩いてみたり、公民館で行われるイベントや、防災についてのセミナーに参加している
- ・ 民生委員を知ってはいるが、つながりが薄い
- ・ 食料等の備蓄はしていない。食事はコープ愛媛に頼んでいる
- ・ 台所の食器棚に突っ張り棒を設置したい(予算の都合上今回は設置できなかった。ご自身での設置も視野に入れられているようだった)

- ・ 防災用品を取り付け済みの箇所あり
- ・ 消火器あるが古い、非常食もあるが少なめ
- ・ 日頃から散歩をしている。避難所まで歩いている。
- ・ パソコン使用しておりパソコンから情報収集
- ・ 地域の人が気にかけて声かけてくれる
- ・ 地域の活動に参加しており、防災訓練等に参加している
- ・ 寝室にスリッパ置いている（地域の防災活動参加時に言われたため）
- ・ 飲料水は最近変えたが、非常食は期限切れかも
- ・ 水の備蓄はあるが、何年も替えてないので飲めるかどうか
- ・ 避難場所がどこかは分からないけど、民生委員さんが連れて行ってくれる
- ・ 民生委員さんが近くに住んでおり、安否確認をしている。避難時も一緒に行動する予定。
- ・ 町内の住民との交流が盛んで、地域のイベントに積極的に参加している。
- ・ 防災資料はあるが、どこにあるか不明
- ・ 消火器の設置はあったが、期限は切れていた。（火消スプレーをお渡しした。）

5. 活動の感想・評価

5-1 活動の感想（支援世帯）

訪問 102 世帯に対してアンケート実施し、69 件の回答を得た。以下にその内容を示す。

1. 「新たな備えサポート隊」の活動に満足できたでしょうか？

	満足	少し満足	普通	少し不満	不満
件数	59	7	0	2	1
%	86%	10%	0%	3%	1%

1-2. 良かった点、良くなかった点、その他ご感想をお書きください（抜粋）

- ・ 訪問先への事前調査を行ない、何が必要なか聞きとりし、それに近い品物を準備提供する必要はあるのではないかと
- ・ 丁寧につっぱりをしてもらった。つっぱり出来ない家具チェーンでしてほしかった。
- ・ このような「サポート隊」の事、初めて知りました。スタッフの方々はもちろん、民生委員の方々に、感謝でいっぱいです。ありがとうございました。
- ・ 防災への備えを色々説明していただいて、大変参考になりました。ありがとうございました。
- ・ 自分では出来なかった家具の転倒防止が出来、安心致しました。
- ・ 皆さんとっても親切で安心でした。一寸云えば、もう少し見た目を考えて設置してほしかったです
- ・ 明確な手順などの理解不足（民生委員等、防災士等）
- ・ 家具が安定したので、これから安心して生活ができるので良かったです。ありがとうございました。
- ・ 防災について分かりやすく説明して頂き、準備していこうと思いました。
- ・ 出口への動線が確保でき、安心しました。ありがとうございました。
- ・ 不安に思っている事に的確に答えてくれる。安心しました。
- ・ 皆様とても感じがよく、後始末まできちんとして頂き満足です
- ・ 活動自体はとても良かったが、各担当宅での防災士同士の引継ぎや待ち合わせにとまどった。
- ・ しっかり付けてくださり、又 他の部屋のアドバイスもあり、ありがとうございました。「防災 DIY の新常識」大いに役立ちました。
- ・ すごく助かりました。ボランティアでされている姿に感謝！

- ・ 説明が十分であった。専門性の高いスタッフさんだった。礼儀正しい。

2. 以前と比べて防災への意識や備えは変わりましたか

	変わった	少し変わった	変わらない	未回答
件数	37	28	2	2
%	54%	41%	3%	3%

2-1. 変わった、少し変わったと回答された方はそのようなことが変わりましたか（複数回答） 合計 193 回答

	避難できるよ う家具等の整 理をした	備蓄や防災用 品をそろえた	防災パンフレ ットを読んだ	近所にある避 難所の確認を した	民生委員や近 所の方と防災 の話をするよ うになった	その他
件数	26	39	50	32	29	17
%	13%	20%	26%	17%	15%	9%

その他の記載事項（抜粋）

- ・ 防災用品は少しづつ揃えたい。安心できた。
- ・ すこし前向きに考える様になりました
- ・ 常に関心をもつようになった
- ・ となり近所、友人にみせたら、私もしてもらいたいといわれました

5-2 活動の感想（サポーター）

サポーターに帰着後、活動の感想を記入してもらい 74 件の回答を得た。

1. 「新たな備えサポート隊」の活動に満足できたでしょうか？

	満足	少し満足	普通	少し不満	不満
件数	60	13	1	0	0
%	81%	18%	1%	0%	0%

1-2. 良かった点、良くなかった点、その他ご感想をお書きください（抜粋）

- ・ 有り難い！有り難い！と喜んでもらえて嬉しかった
- ・ 防災士の方の知識も不足しているかもしれない。研修等でフォローが必要だと思われる
- ・ 車の駐車スペースを確保してほしい
- ・ 地域防災士、民生委員と活動隊 3 名での連携で現場雰囲気も悪くなくスムーズにアセスメント確認や作業をすることが出来たことはよかった。活動の認知が広がりつつあるようにも感じた 3 年目活動でした。
- ・ 時間帯のスケジュールについては、あらかじめ確認いただいていたのですが、当日対象者宅が予定変更もある想定をし、活動時間帯は現場判断で調整を行うことが出来ればよりスムーズに進むこともあると思います
- ・ 災害の備えをしていない方が多く、この活動の必要性を感じました
- ・ 高齢者の方に温かく迎え入れていただき、帰りにお礼の言葉をいただき訪問してよかった。改善点としては民生委員の方が活動時間について午前中のみと認識されており午後からは同行できなか

った。(地域の防災士さんがおられたので支障はなかったです)

- ・ 防災士としての知識によるアドバイスをすることができて、感謝された。
- ・ 私自身は現地でのタブレット入力より、ペーパーベースの方がやりやすいと感じた
- ・ 事前に住民の方と連携を取ってくださっていたのでかなりスムーズに進みました。
- ・ 活動を喜んでくださったり、いろいろお話できて今後の活動に参考になった
- ・ 市役所から派遣された活動隊とずっと思われてました。
- ・ 喜んでもらえてうれしい気持ちになりました。実家の母のともしないって思いました。
- ・ 民生さんや地域の防災士さんがいたことが良かったです。今回駐車場がなかったところばかりだったので、1件分の荷物を分ける箱があっても良かったかなと思いました。
- ・ 実際にやってみて活動の大切さがわかった。
- ・ 地域の民生委員、防災士の方々がいらっしゃることで世帯の方にスムーズに受け入れて頂き、作業も問題なく行えました。
- ・ 訪問先よりも自分の方が防災意識が低かった事には危機感をもった。
- ・ 活動に理解していただき、温かく迎えていただけた。活動後感謝の言葉をいただき嬉しかった。
- ・ 資材や書類などの準備物、やるべきことは整っておりやり易かった。ノコギリがあると当て木の調整ができると思う。
- ・ 建物の関係で要望に応えられない世帯があり申し訳なかった。
- ・ 2名体制だったのでヒアリング役がおらず、手が足りなかった。
- ・ 訪問先がサポート隊の来る時間を知らされていない
- ・ 防災に関するコミュニケーションが取れて良かった
- ・ 防災グッズ 相手が選ぶより、決めた物を渡す物を決めた方がいいのでは

2. 「新たな備えサポート隊」活動はスムーズに進行できたでしょうか

	進行できた	ほぼ問題なく進行できた	普通	やや進行できなかった	進行できなかった
件数	39	30	3	2	0
%	53%	41%	4%	3%	0%

2-1. やや進行できなかった、進行できなかったを選択された方は理由をお書きください(抜粋)

- ・ 突っ張り棒の付け方が防災士さんと意見が違っていた
- ・ 突っ張り棒の不良品に当たってしまった。ご自宅が分からなかった
- ・ 支棒の足がはずれて2回程度床に落ちたのが残念であった
- ・ 仏壇を希望されたが、仏間の構造が特殊で対応できなかった
- ・ ボランティアだけの取り付けになったので、円滑さに欠けていた

3. その他感想があればお書きください(抜粋)

- ・ 結構力仕事もあったので、暑い時期の開催は避けていただけるといいかなと思いました
- ・ 学生も大学生を中心としていると思いますが、近年高校生も災害に対する意識が高まってきています。参加者の年代を幅広くなればよろしいのではないのでしょうか？
- ・ 民生委員さんや現地の防災士さんにもご協力いただきありがたかったです
- ・ 昨年度は、防災士の資格もなく参加しましたが、今回は防災士の資格を取り参加させていただきました。以前より防災についてのアドバイスが出来るようになり資格を取って良かったと実感しました。
- ・ お世話する方、主催者の方が大変だと思いますが、協力できることはしますようお願いいたします。

- ・ こちらも知識のアップデート機会となり、住民の方の生の声も聞けて大変勉強になりました。
- ・ ボランティアとして参加するのが大好きです。
- ・ 大学生（ヒアリング役）の参加を増やして欲しい。
- ・ 初めて体験させていただきましたが、素晴らしい取り組みだと思いました。
- ・ 家の人の対応も良かった。又プレゼントにも喜んでおられた。
- ・ 現地に行ってみて初めてわかることもあった。（例：タンスと天井の高さが1m以上あり、つっぱり棒設置を断念した。94歳の方だったが、コミュニケーションもとれ、生活実態なども理解できた。貴重な経験となりました。ありがとうございました。
- ・ 毎年、地域毎に実施してほしい
- ・ 作業風景写真が入った冊子（PDFでもOK）があれば説明がしやすいです
- ・ 独居老人の方が温かく迎え入れてくれてよかった。ただ、団地上層階に住んでいる方で視覚や四肢等に不安のある方の安全避難が心配である。
- ・ お伺いしたお宅の方は、防災グッズを一人も備えていなくてビックリしました
- ・ どの訪問先でも、天井の強度にふあんがあった。当て板が飛びはずれ、住人にあたることはないか心配である。（少なくとも角をとっておく必要があるのでは？）
- ・ 減災の対応としては大変良い活動だと思うので、継続してもらいたいと思います
- ・ 女性の一人住まいは心細いので、寝室に支持棒があることで安心できると言われた

5-3 活動の評価

活動が3年目を迎え、関連機関の協力や関心の高まりから支援先世帯やサポーターの募集が大きく伸び、サポーター認定118名（前年85名）、102件の世帯訪問（前年100件）が達成できた。活動成果として以下を挙げる。

1. 102世帯を訪問し防災用品の取り付けや防災情報の提供により、新たな備えの推進ができた
2. 118名のサポーター認定を行ってのべ136名を派遣でき、目標数の訪問を実現できた
3. 「新たな備えサポート隊 in 松山実行委員会」構成団体の企業・団体からのべ61名のサポーター参加があり、企業・団体での防災意識の向上に寄与した
4. 支援世帯の防災アセスメント調査を行い、支援先家庭の防災等の状況を把握することができた
5. テレビ（あいテレビ）、新聞（愛媛新聞）で紹介があり、活動の周知ができた

6. 参考資料①（募集チラシ）

お家の防災対策を支援します！ 新たな備えサポート隊 in 松山

支援内容（100世帯対象！）

- ◇家具の転倒防止器具等の取付け（目安：2～3カ所）
- ◇防災対策に関する情報提供やアドバイス

無料!!

◆今年度は以下の地区が対象です
①桑原 ②素鷲 ③雄郡 ④新玉 ⑤清水 ⑥味酒
⑦宮前 ⑧三津浜 ⑨和気 ⑩堀江

ご利用の流れ

- 1**
お申込み
5月～6月末
松山市 市民防災安全課宛に申込書をお送りください。
- 2**
日程調整
7月～8月中旬
民生委員を通じてご連絡差し上げます。
- 3**
ご訪問・取付け
10月中（土日祝）
家具固定や地震対策や備蓄のアドバイス、アンケート調査などを行います。



新たな備えサポート隊とは？

災害に備えるため、「企業・学生・地域の防災士」で結成するボランティアチームがお家を訪問し、防災対策を支援する活動です。

実行委員会×松山市×愛媛大学防災情報研究センターが支援。
（2022年7月25日、野志松山市長出席のもと事業協定を締結）



<実行委員会構成団体>
（株）あいテレビ、（株）伊予銀行、（株）愛媛新聞社、愛媛県中予地区郵便局長会、愛媛トヨペット（株）
（株）輝城、久保豊（株）、コカ・コーラボトラーズジャパン（株）、ソフトバンク（株）、（株）ダイキアクシス
（一財）ダイバーシティ研究所、DCM（株）、（株）寺小屋グループ、東京海上日動火災保険（株）、南海放送（株）
西日本電信電話（株）四国支店、（特非）松山さかのうえ日本語学校、三井住友信託銀行（株）松山支店
（2023年度構成団体・50順）

支援世帯募集チラシ

新たな備えサポート隊 ボランティア募集

お家の防災対策を支援します！

活動内容

- 1 下記QRコードより、ボランティアの参加申し込みを行う
- 2 研修動画を視聴し、活動の基礎を学ぶ
- 3 実技研修で家具固定の方法などを身につける
- 4 支援が必要な方のお宅を訪問し、家具の転倒防止器具等の取付けや、防災対策に関する情報提供やアドバイスを行う
- 5 事務局に活動結果を報告する

実技研修日程

2024年
9月28日(土)・29日(日)・30日(月)
各日程9:30-12:30/13:30-16:30の2回実施
※28日(土)は13:30-16:30のみ

上記5回の開催のうちいずれか1回の受講が必要

会場：DCM様1階
ゆめ・みらい 住まいの創造かん
(松山市美沢1-9-1)

高齢者宅訪問日程

訪問日は選択可能！
1日だけでもOK◎

2024年
10月12日(土)・13日(日)・14日(月)
19日(土)・20日(日)・26日(土)・27日(日)

【全7日程】



「新たな備えサポート隊」とは？
災害に備えるため、「企業・学生・地域の防災士」などで結成する3名1組のボランティアチームが高齢者宅*を訪問し、家具の転倒防止器具などの防災対策を支援する活動です。
*...65歳以上の一人暮らしで支援が必要な方

支援先

- ① 桑原 ② 素鷲 ③ 雄郡 ④ 新玉 ⑤ 清水 ⑥ 味酒
- ⑦ 宮前 ⑧ 三津浜 ⑨ 和気 ⑩ 堀江

※今年度は、上記地区の高齢者宅(100世帯まで)を支援します。

募集対象

・防災士 ・大学生、専門学生 など

お問い合わせ

新たな備えサポート隊in松山 実行委員会 事務局
〒791-8517 松山市美沢1-9-1 DCM株式会社内
電話：090-8213-6209 (山瀬) 089-925-1274 (中村)
(受付は平日9時00分～17時30分、土日祝除く)
メール：sonaesup@diversityjapan.jp

お申込みはこちらから ▶
<http://sonaetai.net>



実行委員会構成団体

(株) あいテレビ、(株) 伊予銀行、(株) 愛媛新聞社、愛媛県中予地区郵便局長会、愛媛トヨペット(株)
(株) 輝城、久保豊(株)、コカ・コーラボトラーズジャパン(株)、ソフトバンク(株)、(株) ダイキアクシス
(一財) ダイバーシティ研究所、DCM(株)、(株) 寺小屋グループ、東京海上日動火災保険(株)、南海放送(株)
西日本電信電話(株) 四国支店、(特非) 松山さかのうえ日本語学校、三井住友信託銀行(株) 松山支店
(2023年度構成団体・50順)

サポーター募集チラシ

7. 参考資料②（災害への備えを考えるワークショップ）

大学生を主な対象として災害への備えを考えるワークショップを開催し、防災について考える機会の提供とサポーター募集の促進を図った。

災害への備えを考えるワークショップ
能登半島地震から考える新たな備えの必要性
～松山で大学生ができることを考えよう～

開催日時：2024年7月27日(土) 14:00～16:00

会場：愛媛大学E. U. Regional Commons 1階

プログラム：

- 14:00 開会 「新たな備えサポート隊 in 松山」の活動紹介**
田村太郎（実行委員会事務局長・ダイバーシティ研究所代表理事）
- 14:10 クロストーク「能登半島地震から考える新たな備えの必要性」**
芝大輔（愛媛大学地域レジリエンス学環准教授）×田村太郎
- 14:40 体験談「学生が支える松山での新たな備え」**
昨年度までの活動に参加した学生2名による体験談の発表
- 15:10 ラウンドテーブル「新たな備えサポート隊メンバーと参加者との意見交換」**
- 15:50 今年度のサポート隊の募集についてご案内**
- 16:00 閉会**



当日の様子

参加者13名からアンケート回答を得た。以下にその結果を示す。

- ・属性：高校生5名、大学生3名、社会人5名
- ・満足度：たいへん満足10名、満足3名
- ・サポート隊の活動について：登録済み5名、参加したい4名、その他4名
*その他は高校生のため参加できないを含む

発行：新たな備えサポート隊 in 松山実行委員会 事務局（DCM株式会社内）

E-Mail：sonaesup@diversityjapan.jp

URL：<https://sonaetai.net>

（報告書作成：一般財団法人ダイバーシティ研究所 office@diversityjapan.jp）